

回想法センター 3月号

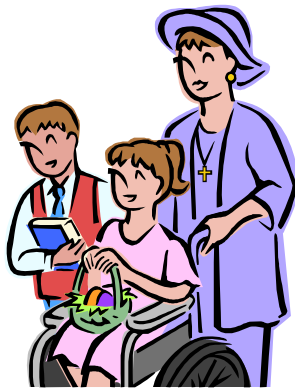
平成25年 2月25日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台 5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
e-meil pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
h p www16.ocn.ne.jp/~piakaiso

春が芽吹き始めています

違いを排除しない社会を

「健常者」という言葉がありますが、常に健やかな者はいないですね。私たちは、いつ障害を抱える身になるか分かりません。

我が家も、夫が障害者になったとたん、今まで当たり前のように暮していた生活が出来なくなってしまいました。障害を負うと、こんなにも社会の中で暮しにくくなるのかと悲しくなりました。



2月23日「茨城に障害のある人の権利条例をつくる会」が誕生しました。障害のある人も、ない人も、誰もが社会の中で安心して暮せるように、さまざまなハンディをもった人達と、ない人達が一つになって、乗り越えなければならぬ壁は沢山ありますが、誰もが安心して暮せる社会を目指して条例作りに知恵を搾り出して行きたいです。

どんな状況（障害）になっても、社会の中で自分らしく輝いて暮せるように。

急ぎすぎではありませんか

随分前のことですが、若いヘルパーさんが「びっくり水」と言われスーパーに買いに走った話をラジオで聞きました。水の国日本で水が売られるようになるとは、誰が想像したのでしょうか。

今では、「急須」も、「お茶をいれる」も、「粗茶ですけど」も知らない世代が増えているそうです。「茶柱が立ったから今日は良いことがある」と一喜一憂した頃は遠い昔の話になってしまったようです。

ペットボトルのお茶は手軽でいいですが、朝の一杯のお茶は、一日の難をよけると祖母に言われて育った世代には寂しい限りです。

甘いお菓子とともに一杯のお茶でもてなし、もてなされるものは、粗茶でも心が和みます。コンビニエンス(便利)と引き換えに大事なものをこぼしているようです。時間をとめて、急須で入れた粗茶を一杯ゆっくりと飲み干したいものですね。ちょっと前の時代のように、軒先で、茶をすすりながら世間話に花を咲かせていた頃のように。

3月の予定

回想ガイド活動は、5日(火)、15日(金)、19日(火)

昔の遊び体験教室は、23日(土)

開催場所は、歴史民俗資料館

開催時間は、13時30分～15時30分です

おしゃべりサロンは11日(月)、25日(月)

開催場所は市役所地下 元職員食堂

開催時間は14時～16時

問い合わせ先

龍ヶ崎市回想法センター 電話 0297-65-4443